

## シンポジウム A

### 我が国における海洋学の歩みと日本海洋学会 — 日本海洋学会創立 70 周年記念シンポジウム —

主 催：日本海洋学会  
コンビナー：日本海洋学会幹事会  
日 時：2011 年 9 月 26 日（月）10：00—17：00  
場 所：九州大学筑紫キャンパス 第一会場

#### <開催趣旨>

日本海洋学会は 1941 年に設立され、今年で 70 周年を迎えます。本学会は、海洋学の進歩普及を図ることを目的として、研究集会の開催、学術刊行物の発行、研究業績への顕彰などを行ってきました。学会の歴史は日本の海洋学の歴史でもあります。海洋学および学会を取り巻く状況は、近年大きく変わりつつあります。地球環境変化に対する海洋の緩衝作用の認識、研究のいっそうの国際化、アルゴフロートや衛星観測に代表される高頻度・高密度観測の普及、大気海洋結合モデルに代表される数値モデルの高度化と将来予測への期待など、研究の大型化・高精度化が進んでおります。しかし、一方では、大学等における定員削減とポストク問題、また船舶などの更新停滞など、近年とりわけ若手研究者を取り巻く問題が顕在化しております。さらに、本年 3 月 11 日に起きた巨大地震と大津波による東日本大震災、またそれに引き続く福島第一原子力発電所の事故は、社会に対する学会のあり方を根底から考える機会となりました。

今回のシンポジウムでは、過去 10 年間の海洋学と本学会の歩みを振り返り、これからの 10 年間の方向性を模索し、提示していくことを目的としております。そこで、学会を牽引してこられた方から、現在活発に活動しておられる若手の会員までの各層から発表していただくことにしました。発表者のみならず、参加者の方々にも、明るい将来像を描きながら、海洋学と本学会の進歩発展に大きく貢献できる方向性を議論する一助になればと考えます。

#### <プログラム>

	座長 神田 穰太（東京海洋大学，幹事）
10：00-10：10 開会の挨拶	花輪 公雄（東北大学，会長）
10：10-10：30 学会 10 年間の歩み	小川 浩史（東京大学，幹事）
「我が国における海洋学の歩みと展望」	
10：30-11：00 海洋物理学	須賀 利雄（東北大学）
11：00-11：30 化学海洋学	小畑 元（東京大学）
11：30-12：00 生物海洋学	齊藤 宏明（東北区水産研究所）
「これまでの学会活動と今後の学会活動への期待」	
12：00-12：20	今脇 資郎（海洋研究開発機構）
12：20-12：40	小池 勲夫（琉球大学）

#### 昼食休憩

座長 津田 敦（東京大学，副会長）

「海洋学の振興における学会の役割」

13：40-14：20

植松 光夫（東京大学）

「学会を通じた研究活動と今後の学会への期待」

14：20-14：40

川合 美千代（東京海洋大学）

14：40-15：00

早稲田 卓爾（東京大学）

15：00-15：20

山中 康裕（北海道大学）

休憩

15：40-16：00

梅澤 有（長崎大学）

16：00-16：20

田中 恒夫（仏・LOV）

16：20-16：40

町田 龍二（台湾中央研究院）

「学会の未来に向けて」

16：40-17：00

角皆 静男（名誉会員）

17：00-17：05 閉会の挨拶

津田 敦（東京大学，副会長）